

Q 安心・安全な食材を使用した学校給食を

小島 幸広 議員
こしま ゆきひろ



A 良質な学校給食食品の確保が不可欠

問 殺虫剤として使われているネオニコチノイド系農薬の残留チェックを強化して安全な野菜の使用を。

答 定期的に様々な検査を行っており、残留農薬の検査は、200項目程度について、年2回行っている。

問 合成保存料、発色剤などの検査強化や無添加食材への切り替えを。

答 食品の選定は、可能な限り加工したものは避け、有害及び不必要な食品添加物が添加されていないことを基本としている。

問 今後、引き続き実施していく。オーガニック野菜など、安心・安全な食材の使用となると、1食あたりの単価が上がるが、

答 毎日約5000食の給食の提供に対し、安定的に調達する



安心・安全な学校給食を

Q 教育環境の充実について

いずもびんたろう
出雲敏太郎 議員



A トイレ改修などを検討し、教育環境の充実を図る

ことが非常に困難である。引き続き残留農薬検査などを実施し、納入業者などと情報を共有して安心・安全な給食を提供できるように努める。

問 条件、期間限定を含めて学校給食費の無償化の実施を。

答 現在は、物価高騰分を市の負担としている。今後も国や県の動向を注視していきたい。

◎その他の質問 高齢化が進む社会で今求められている施策は。

教育環境の充実という観点から、学校再編やその他の教育に関する課題について質問する。

問 (仮称)西部中学校への通学方法について、徒歩や自転車、つるワゴンなどが考えられる。

答 通学方法を各家庭に委ねては。駐輪場の確保や下校時の混雑などの課題を学校・保護者とともに検討していきたい。

問 靴下の色の指定や男女別の髪型の規定など、意味不明な校則は作らないでいただきたいが。

答 開校当初に明確になっていないと子どもたちが混乱するような校則は概要を決め、詳細を、子どもたちが考えていくことが大切である。こうした考え方を



教育環境の充実を

しっかりと学校現場と共有していきたい。

問 開校時には、一時的なスクールカウンセラーの増員を。

答 充実した相談体制となるよう検討していく。

問 長久保小学校のトイレの改修を。

答 国の補正予算にあわせて財源確保を図り、各学校のトイレの改修を検討している。

◎その他の質問

一 鳥獣による被害対策について

二 公園施設の老朽化対策について